

目黒駅近くの線路跡地に海外の街並みが出現します 地下化した線路跡地にニューヨーク、パリの街並みをイメージした撮影スタジオを建設

東京急行電鉄株式会社

東京急行電鉄（本社：東京都渋谷区、社長：越村敏昭）は、目黒線目黒駅近くの地下化した線路跡地（東京都品川区西五反田三丁目）に、ニューヨークやパリの街並みをイメージした外観を持つ撮影スタジオを建設し、2007年5月7日（木）から使用を開始します。

今回建設したのは、ニューヨークをイメージしたA棟「EASE NEWYORK（イーズニューヨーク）」と、パリをイメージしたB棟「EASE PARIS（イーズパリ）」の2棟です。計画段階から、テナントとして入居する有限会社ピースなど協力し、外壁や窓枠、街灯など細部にこだわってそれぞれの街並みを再現し、建物外部も撮影のためのセットとして活用します。

当該地は、目黒線と東京メトロ南北線・都営三田線の相互直通運転開始（2000年9月）に伴い、1997年7月に地下化された後、工所用資材置き場として使用してきた土地です。今回は線路跡地の有効活用を図るとともに、細長い土地の形状（長さ：約160m、幅：最大約10m）を活かし、個性的な外観を持った建物を並べることで、新たに散策などで訪れる人の流れを創出し、周辺地域の活性化を図ります。

なお、当該建物の下には防振ゴムを設置し、鉄道用地特有の振動や騒音を防止することで、撮影スタジオとしての利用を可能にしています。

新たに建設した建物の概要は以下の通りです。

ニューヨークスタイル

A棟「EASE NEWYORK（イーズニューヨーク）」



パリスタイル

B棟「EASE PARIS（イーズパリ）」



建物の概要

A棟「EASE NEWYORK（イーズニューヨーク）」

開業日 2007年5月7日（月）

所在地 品川区西五反田三丁目1番1号

延床面積 433.55㎡

テナント (有)ピース（撮影用家具・雑貨のレンタル）

B棟「EASE PARIS (イーズパリ)」

開業日 2007年5月7日(月)

所在地 品川区西五反田三丁目1番2号

延床面積 744.35㎡

テナント (有)ピース (撮影用家具・雑貨のレンタル)
(株)ペンコミュニケーション、(株)プル (フォトスタジオ)

以 上